

飯垣会長「魅力ある活動を」

■JAFSA、都内で夏季セミナー開催

外航船舶代理店業協会（JAFSA）は22日、都内で夏季セミナーと懇親会を開催した。懇親会ではJAFSAの飯垣隆三会長（ベン・ライン・エージェンシーズ・ジャパン会長）が「（JAFSAの）会員やこれから海運業界に入ってくる人に向けて、魅力ある活動をやらないといけない」と話し、具体例としてセミナー開催を挙げ、「著名人を講師に呼ぶなど、セミナーに注力したい」とあいさつした。

講演会には、前防衛大臣の中谷

元衆議院議員が登壇。中谷氏は「激動する国際情勢とわが国の対応」をテーマに、防衛大臣としての経験を踏まえて講演した。緊迫する世界情勢について、「ホルムズ海峡を始め、混沌とした状況が広がる中、海運の役割がますます高まっている」と話した。また、JAFSAの米田詩子会長補佐が健康維持をテーマに講演した。

懇親会では、来賓として住友倉庫の小野孝則会長があいさつを述べた。乾杯の音頭は、上組の田原典人



JAFSAの飯垣隆三会長

社長がとった。

JAFSAは今秋、上部団体となる国際海運代理店世界連合（FONASBA）の総会の東京開催を控えている。10月11～14日に年次総会大会のほか、セミナーや理事会、祝賀会などを行う予定。

Shipping Guide

7月24日版

JAFSA夏季セミナー、中谷前防衛相が講演、 中東情勢や日本の安保環境を解説

外航船舶代理店業協会（JAFSA）は22日、都内で会員を対象とした夏季セミナーを開催し、衆議院議員でこれまで防衛大臣を複数回務めた経験を持つ中谷元



氏（写真上）が「激動する国際情勢と我が国の対応」をテーマに講演し、後半パートではJAFSA事務局の会長補佐、米田詩子氏が「健康講座100歳まで元気で楽しくアンチエイジング」をテーマに講演した。

中谷氏は、米国・イスラエルとイランの間で依然交戦状態が続く中東情勢とホル

ムズ海峡の最新の情勢、世界の最新の兵器体系や新たな軍事技術の開発状況を解説したほか、自身がこれまでに防衛大臣を務めてきた時期における安全保障に関わる対応例などを紹介したうえで講演の最後に「大国がルールを守らない時代において世界の安定をどう守っていくのか？ 日本の国の船舶はどう守るのかを国民と考えていく必要がある」と述べた。

続けて登壇した米田氏は、日本において健康寿命を延ばすことが重要であるとしたうえで、日本人の死因の約25%は血管による病気が占め、その原因は動脈硬化にあると解説、そのうえで動脈硬化の原因となる内臓脂肪を落とすことが重要で健康増進に大いに役立つと述

べた。

米田氏は、皮下脂肪に比べ内臓脂肪は比較的落としやすいとしたうえで、毎日のカロリー摂取を300キロカロリー削減するとともに日常的に10～15分多く歩くなど、カロリーを消費しつつ基礎代謝を上げ、さらに座りっぱなしを避けることで脂肪低減を実現できると述べた。

また、16時間の断食状態になると脂肪の燃焼が活発になる「オートファジー」の活用を紹介し、夕食の時間を早め、朝食の時間を遅めにすることで、睡眠時間を含めて16時間を確保できると提案し、実際に米田氏自身もその効果を実感できたという。

セミナー後の懇親会で開会挨拶に立ったJAFSAの飯垣隆三会長（写真右）は「今回のセミナーでは中谷氏の講演により、日本も平和の中でも我々国民が安全保障のことを真剣に考えていく

必要性を感じた。また、第2部の健康講座では、日本の平均寿命は長くとも健康寿命は意外に短いため、もっと伸ばすことの重要性を再認識した」と述べたうえで、JAFSAの活動について触れ「魅力ある協会活動を展開していくためには、魅力あるセミナー活動に力を入れていく方針で、会員が参加したくなるような著名な人によるセミナーを積極的に開催したい」と方針を語った。



その後、来賓代表として住友倉庫の小野孝則会長が登壇し挨拶し、続けて上組の田原典人社長が乾杯の音頭をとった。

飯垣会長「魅力ある活動を」

■ JAFSA、都内で夏季セミナー開催

外航船舶代理店業協会（JAFSA）は22日、都内で夏季セミナーと懇親会を開催した。懇親会ではJAFSAの飯垣隆三会長（ベン・ライン・エージェンシーズ・ジャパン会長）が「（JAFSAの）会員やこれから海運業界に入ってくる人に向けて、魅力ある活動をやらないといけない」と話し、具体例としてセミナー開催を挙げ、「著名人を講師に呼ぶなど、セミナーに注力したい」とあいさつした。

講演会には、前防衛大臣の中

谷元衆議院議員が登壇。中谷氏は「激動する国際情勢とわが国の対応」をテーマに、防衛大臣と

しての経験を踏まえて講演した。緊迫する世界情勢について、「ホルムズ海峡を始め、混沌とした状況が広がる中、海運の役割がますます高まっている」と話した。また、



JAFSAの飯垣隆三会長

JAFSAの米田詩子会長補佐が健康維持をテーマに講演した。

懇親会では、来賓として住友倉庫の小野孝則会長があいさつを述べた。乾杯の音頭は、上組の田原典人社長がとった。

JAFSAは今秋、上部団体となる国際海運代理店世界連合（FONAS-BA）の総会の東京開催を控えている。10月11～14日に年次総会大会のほか、セミナーや理事会、祝賀会などを行う予定。

JAFSA ■ 夏季セミナー開催

外航船舶代理店業協会（JAFSA、飯垣隆三会長）は22日、東京都内で夏季セミナーを開催した。セミナーは第1部、第2部の2部構成で行われ、第1部では中谷元前防衛相が「激動する国際情勢と我が国の対応」をテーマに講演。第2部では同協会の米田詩子会長補佐による健康講座が行われた。

中谷氏は、中東情勢の緊迫化に伴うペルシャ湾での日本関連船舶の安全確保やエネルギーの安定供給への懸念に言及。また、AI（人工知能）やドローン（小型無人機）など最新技術の進化や周辺国の活発な動きを指摘した。その上で、日本の安全保障体制の課題に触れ、「しっかりとわが

日本海事新聞

7月24日版

安全保障テーマに中谷氏講演



講演する中谷氏



あいさつする飯垣会長

国の船舶を守る国になるとシーレーンの安全を断れるように」と強調。国際社会や同盟国と連携を図りながら、日本の平和

第2部では、米田会長

補佐による健康講座「100歳まで元気で楽しくアンチエイジング」が行われた。健康寿命の重要性や内臓脂肪を減らす生活習慣の工夫などについて分かりやすく解説。参加者は熱心に耳を傾けた。

セミナー終了後の懇親会であいさつした飯垣会長は、厳しい国際情勢に触れ、「われわれも国民もそういうことをもっと認識をしていかなければならない」と強調した。また、魅力あるセミナーの開催や健康寿命の延伸などを通じて、協会のさらなる発展を呼び掛けた。

続いて来賓を代表して住友倉庫の小野孝則会長があいさつし、上組の田原典人社長による乾杯の発声で懇談に移った。

JAFSAが都内で夏季セミナー開催

外航船舶代理店業協会（JAFSA）は7月22日、2026年度夏季セミナーと懇親会を都内ホテルで開催した。

セミナーでは、中谷元・前防衛大臣(写真)が「激動する国際情勢と我が国の対応」をテーマに講演した。



中谷氏は「ホルムズ海峡をはじめ、混沌とした状況の中で、海運の役割がますます高まっている」とした。現在の中東危機について、「小泉純一郎総理大臣の時に、防衛庁長官を務めていたが、その小泉元総理の“人生には『のぼり坂』、『くだり坂』、『まさか』の3つの坂がある”という名言(迷言?)のとおり、『まさか』の想定外のことが突然起こり、海運分野は危機的な状況にある」と述べた。

米国とイランの戦争については、「AI（人工知能）が爆発的に進化していて、自律型AIドローンなどAIを駆使して作戦が行われるという時代になった」との見解を示した。日本の対応としては、「米国に対する法的評価は回避しているが、事態が早く沈静化するべくトランプ大統領を支持している。対イランについては攻撃を止めるように要求をしており、ホルムズ海峡の安全保障についても欧州と連携して航行の自由の海路を守る。そして、原油の安定供給で関連諸国に協力を要請して代替手段も考えるなど、色々なことを一生懸命やっている」と説明した。その後、自身の防衛大臣としての経験・実績などを講演した。

続いてJAFSAの米田詩子会長補佐が「健康講座100歳まで元気で楽しく～アンチエイジング～」をテーマに講演した。セミナー後は懇親会が行われた。